



C06

サイバーセキュリティ



実践サイバー演習 RPCI（リプシィ）

～インシデント対応力を高めるリアリティを追求した、情報処理安全確保支援士向け特定講習～



概要

国家資格「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）」の特定講習として、
2021年度からNICTにて実施。「CYDER」で培った、サイバー演習のノウハウ
を活かし、技術に寄った講習を希望する受講者のニーズに応えます。

RPCI 4つの特徴



2022年度 実践サイバー演習 RPCI(リプシィ)の実施概要

- ① 対象者 : 情報処理安全確保支援士、その他サイバー防御演習に関心のある方など
- ② 講習形態 : 事前学習（オンライン形式）と集合演習（会場でのハンズオン＆グループワーク）
- ③ 開催日程 : 6/16(木)、7/2(土)、7/14(木)、8/18(木)、9/15(木)、10/20(木)、11/17(木)、12/3(土)、12/16(金)、2023/1/19(木)
- ④ 講習会場 : NICT イノベーションセンター（千代田区大手町）
- ⑤ 受講期間 : 事前学習 2 時間程度～ + 集合演習 1 日間（10：00～18：00）
- ⑥ 定員 : 32 名/回
- ⑦ 受講費用 : 88,000 円（税込）

※情報処理安全確保支援士ではない方もご受講可能です。

※定員は、現時点で想定している新型コロナウイルス感染症対策を実施した場合の見込み人数です。必要な対策内容により変動することがあります。

特徴

- ・ 公的機関唯一の情報処理安全確保支援士向け特定講習
- ・ 仮想組織のネットワークをシミュレートした演習環境を舞台に演習を実施
- ・ 受講者はCSIRTの一員として参加。
実機を用いて攻撃者からの攻撃に対処することで、インシデントハンドリングのスキルアップが可能。

ユースケース

- ・ インシデント発生時の対応の流れを疑似体験することで、いざという時に即座に行動できるようになる
- ・ CSIRTメンバー、上司、ベンダー等と適切に情報共有し主体的なインシデント対応ができるようになる
- ・ 実務に活かせるツールを使った解析など、実践的な内容が学べる

今後の展開

情報処理安全確保支援士資格の年2回の更新時期に合わせ
7月と12月は月2回、その他の月は月1回の頻度で講習を
開催予定

関連リンク

- ・ RPCI 公式サイト
- ・ 講習内容
- ・ 受講者の声

【お問合せ先】 サイバーセキュリティ研究所 ナショナルサイバートレーニングセンター
サイバートレーニング研究室/事業推進室
Mail : rpci@ml.nict.go.jp

NICTオープンハウス2022